

授業改善推進プラン

小平第五小学校 教育目標

すすんで学び・・・主体的に問題を解決していく子ども
元気で・・・心も体もたくましい子ども
思いやりのある子・・・豊かな人間性を持ち、互いに助け合い支え合う子ども

教員の姿

意欲的な学習を促すために単元や教材を工夫し、対話的な活動を取り入れている。
児童の実態に合わせて多様な表現方法を提案するなどの工夫を行っている。
主体的で対話的な深い学びを実現するために教科担任制を活用し、教材の工夫や開発を行っている。

児童の頑張っている姿

児童は意欲的に学習に取り組んでいる。
児童は友達と協力して問題や課題を解決しようとする姿勢を示す。
児童は自分の学びを振り返り、次に生かそうとしている。

児童の実態

友達の考えを聞く意識に課題があり、考えを広げることが難しい児童がいる。
自己解決能力が不足している児童もいる。
児童の中には粘り強く取り組むことが難しい児童もいる。
対話の目的や対話の仕方に課題があり、主体的な学習に個人差がある。
問題解決後の満足感で学習が終わってしまう児童もいる。

教員の課題

言語活動を更に充実させる必要がある。
対話の指導について理解を深める必要がある。
「深い学び」について共通の理解を持つ必要がある。
教科等横断的なカリキュラムマネジメントをさらに進める。
発表や自己表現の機会を計画的に提供する。

授業改善推進プランの柱

- ・考えを広げるための対話の仕方を工夫する。
- ・各教科で言語活動を充実させ、話型や話合いの指導を行う。
- ・深い学びの定義を明確化する。
- ・教科等横断的なカリキュラムマネジメントの整備、推進をする。
- ・教員間の情報交換や学び合う風土を一層高める。

各学年の必達目標

言語活動の充実・対話指導

カリキュラムマネジメント

主体的・対話的で深い学びの実現

深い学びとは？

教員の学び合い